

特集1

まるごと1冊「地域化」特集

急性期化と長期入院の廃止という流れに対応するため、ヒントとなる他病院の実践を紹介します。

1. 病院と地域、連携できる仕掛けはもうできている◎望月明広
2. 地域との連携がうまい病院はこんな具体的仕掛けをもっている
*駒木野病院 *西伯病院
*島根県出雲地域が作成した地域連携パス
3. 再入院率が低い紀の郷病院の、包括的精神科医療を紹介します
4. 地域化の時代にふさわしい薬の選び方、使い方
*藤田こころケアセンター桶狭間病院 *田宮病院
*宮城県立精神医療センター

特別記事

急性期医療を効果的に行うための 病院建築とは

◎岡本和彦

レポート

オープンダイアログ@フィンランド 行って見て体験して、どうでした？

◎下平美智代

研究

WRAPを訪問看護に導入した効果研究

◎藤田茂治・小瀬古伸幸

*予定ですので、著者、内容含め変更になる場合があります。

編集後記

「訪問看護に半年通っているが、ご本人が訪問看護の必要性を感じておらず、部屋に入れてくれない。どうしたらいいんだろう」。こんなケースが訪問看護の事例検討会で提出されたことがあります。私も頭をひねったのですがいいアイデアは浮かばず、誰も具体的な経験談は出せず、その場は「じっくりかかわってみてください。いつか変わるはず」みたいな結論になってしまったのです。でも今回の特集で教えてもらったACTの実践は、別の可能性を見せてくれたように思うのです。原木を置いて、キノコが生えてきたことが家に入るきっかけになることもあるし、タコ焼きが好きだという情報から、玄関先でタコ焼きを焼いて、匂いで誘い出して本人が顔を出してくれるケースもある。不安を与えない、そしてその事物が本人の興味・関心にパッチリ当たっているならば、案外“バツ”とダイナミックに場面が展開することもある。それは9月号の特別記事「バングラデシュ“突撃在宅訪問記”」で向谷地生良さんが、5年間檻に閉じこめられていた女性を外に出し、散歩することができた場面にも重なります。……石川

医学書院ホームページ <http://www.igaku-shoin.co.jp>ウェブマガジン『かんかん!』 <http://www.igs-kankan.com>

精神看護 第18巻第1号 2015年1月15日発行(隔月刊) 発行: 株式会社医学書院 代表者: 金原優 〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23

Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku Tokyo ©2015, Printed in Japan 販売部: ☎03-3817-5659

「精神看護」編集部: ☎03-3817-5769 FAX03-5804-0485 担当: 石川・伊藤 E-mail: seikan@igaku-shoin.co.jp

本文・表紙デザイン: 高見清史 (view from above) 表紙写真: 齋藤陽道 印刷・製本: 株式会社アイワード

1部定価: 本体1,300円+税 2015年年間購読料(送料弊社負担、年間6冊): 本体7,080円+税(冊子版)/本体10,080円+税(冊子+電子版/個人)/本体11,160円+税(冊子+電子版/共有)/本体7,080円+税(電子版/個人)/本体8,160円+税(電子版/共有)

本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能権を含む)は株式会社医学書院が保有します。本誌を無断で複製する行為(複写、スキャン、デジタルデータ化など)は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的(診療、研究活動を含む)で上記の行為を行うことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

©COPY (社) 出版者著作権管理機構 委託出版物

本書の無断複写は著作権法上の例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に(社)出版者著作権管理機構(☎03-3513-6969、FAX03-3513-6979、info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。

*「精神看護」は、株式会社医学書院の登録商標です。